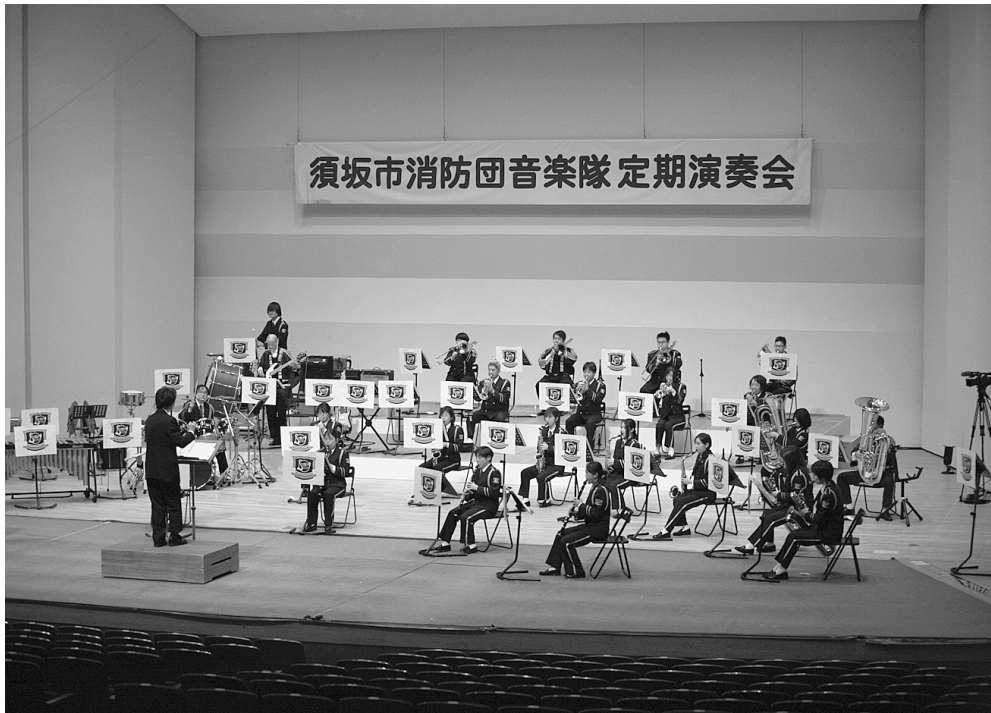


須坂市消防団広報紙



さくら…消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2021 4
(令和3年)

須坂市消防団音楽隊 定期演奏会

11月8日に無観客でケーブルテレビ生中継・インターネット配信しました

『頼られる組織を
目指して』須坂市消防団長
中村 公彦

日頃は、団員のご家族の皆様並びに職場の皆様・地域の皆様におかれましては、消防団および消防団の活動に対し、格別なご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、世界的な非常事態として猛威をふるう新型コロナウイルス感染症の拡大から早一年が過ぎました。あらゆる業種に深刻な影響を与え、全ての人たちに過大なる不自由さを与え、当たり前と思っていた生活出来たことの全てに、変化と工夫をしながらの毎日となりました。不要不急という言葉も多く耳にしますが、消防団におきましては、火災発生・風水害発生・行方不明者捜索等の有事の際には、市民の大切な身体・生命・財産を守るべく、出動可能な団員に

駆け付けていただき、マスクの着用・手指消毒等の感染予防策を講じ、人数・時間等に様々な制限を加えながら、活動を行っております。また、そんな有事に備えた機械器具の点検・放水訓練等にも協力いただいております。何より、このコロナ禍においても理解いただき出動いただける団員・送り出してくださいるご家族・職場の皆様には改めて感謝申し上げます。ワークチン接種が行き届き、有効と思われる治療方法・特效薬が一日でも早く確立されますことを願うばかりです。

さて、平成三十年四月より毎月開催の消防団幹部会議に合わせ『消防団あり方検討会』を行っており、市内においての万が一の大規模災害発生時をどのように乗り越えるのか？須坂市の条例に定められた団員定数八百八十一名を欠員なく確保するにはどうすべきか？他県（市町村）消防団で導入されている機能別団員制度をどう取り入れるか？検討を重ねております。漠然と団員確保のみに集中するので

はなく、すんなりと入団いただけない私たち須坂市消防団への市民の皆様からの印象・そして実情も省みながら、魅力を感じ、安心感を持ち、そして必要とされ頼られる組織を目指して行きたいと考えております。機能別団員におきましては、消防職団員経験者の皆様はじめ区（自治会）長の皆様のお力・お知恵をいただきながら進めてまいりたいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、須坂市の消防機関の一つとして、消火作業の際に必要とする放水訓練・火災予防を訴えるべく警戒活動やラップパレード等啓発活動を、それぞれの地域（分団）で行いますが、温かく見守っていただき、更にご理解・ご協力を深めていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



須坂市消防団管轄区域 第1分団 1部 穀町、上町 2部 坂田町、南原町 第2分団 1部 本上町、上中町、中町、常盤町 2部 屋部町、小山町、北原町 第3分団 1部 横町、東横町、立町 2部 南横町、北横町、馬場町、西町、須坂ハイランド町、田の神町 3部 八幡町、境沢町 第4分団 1部 春木町、新町、太子町、相森町 2部 高橋町、大谷町、本郷町

消防団員 家族の声

初めての消防団



中島真理江さん
第6分団
中島 裕一さんと奥様です

消防団の皆さん、地域の為活動していただきありがとうございます。私の地元地域には身近に消防団員がおらず消防団とはどんな活動をしているのか全く知りませんでした。しかし主人のおかげで消防団活動の大切さを知ることができました。ポンプ操作やラッパ吹奏の大会だけでなく、日々の訓練、年末の夜警、行方不明者の捜索など、これ以上にもたくさんの方の活動をしている事をもっと地域の方に知っていただきたいと思っています。

消防団の家族として何が出来るか解りませんが、微力ながら協力したいと思っています。

団員の皆さんこれからも体に気をつけて頑張ってください。

地域を守る消防団



彩華さん・大河くん・梨華さん
第7分団
長井 貴昭さんのご家族です

消防団の皆様、いつも私たちのまちを守っていただきありがとうございます。

火災や災害が起こった時は、いち早く駆けつけて消火活動や人命救助、それ以外にも私たち地域の安心安全のことを第一に考え、一生懸命活動いただいていることに、とても感謝しています。

入団四年目になる私の主人は、今年部長という大役を任せられることになり、家族全員で応援し協力していきたいと思っています。

また、近年自然災害が続く中で、米持町に一人でも多くの消防団員が増えることを団員の家族として願っています。

写真で見る消防団活動（令和2年10月～令和3年3月）



▲歳末夜警（12月26～30日）
コロナ対策として特別編成で実施



▲連結送水訓練（11月14日）
全分団参加の訓練



▲分団訓練（10月4日）
密を避けての放水訓練



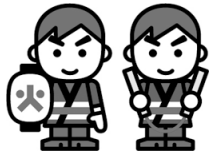
▲普通救命講習（3月14日）
e ラーニングを使った短縮講習



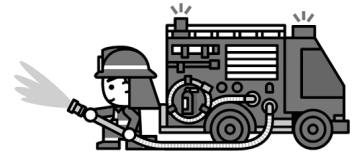
▲積載車更新（3月7日）
5・9分団の積載車が更新されました



▲辞令交付・表彰（1月10日）
出初中止の為、消防本部にて実施



消防団員の声



消防団で思うこと

消防団に入団して二年目のこと、初めて小型ポンプ操法の一番員として参加しました。消防団について全く無知な状態で、大会に参加したものですから結果は散々でした。しかし、その時支えてくれた仲間たちは、笑顔で「よく頑張った」と声をかけてくれたことを今でも覚えています。それから、選手のサポート、補助員・指揮者と参加させてもらううち、練習を通して苦楽を共にしたチームとしても一体感を感じることも出来たことは大きな財産だと思います。

ところで「消防団は酒ばかり飲んでいる」「早朝から活動して大変」というイメージを未だに引きずって入団を敬遠されがちですが、決していつもそんな状況でないことを多くの人に知ってほしいと思います。みんながそれぞれ仕事をし、日々忙しい中で活動をしているのでお互いに想いあって、それぞれできることを協力して活動を積み重ねている、いわば人との関わりについて学びの場です。一人でも多くの仲間と一緒に活動出来たら幸せです。



第1分団 部長
近藤 洋輔

消防団活動で思うこと

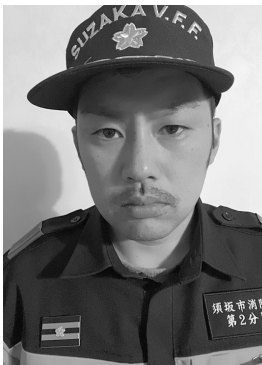
私は須坂市消防団に入団し、十年目に突入しました。この十年で普通の生活では経験出来なような事、生活の中で役立つ情報や知識等たくさんを学びました。

私達消防団はいつ、どんな時に、どんな条件で発生するか予測が難しい自然災害、一般建物火災等に備え日頃から訓練しています。

消防団に入団し普段から行う「規律訓練」にも大きな役割がある事を知りました。これは有事の際、仲間とともに行動する為の訓練であり、規律性を高める事で仲間の動きを把握し、万が一自分の身に危険が生じて「自分を守る」ことができます。

この規律性を高める事は仕事や地域社会で生きていく中でも応用でき、有難い経験になっています。

これからも地域住民の皆様とコミュニケーションを図りながら、地域を守る団員の一人として規律を守り積極果敢に行動していきたいと思っています。



第2分団 分団部長
永井 謙太

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

中村 公彦

2021年度 全国統一防火標語

『おうち時間 家族で点検 火の始末』

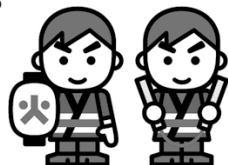
須坂市 火災発生状況
(2020年中の火災発生件数)

総件数／28件

内訳

建物／13件 車両／1件 その他／14件

空気が乾燥し風の強くなるこの
時季は火災が多発します。家庭
や職場で火災予防対策を徹底
し、火災を出さないように十分
注意してください。



定期演奏会御礼

須坂市消防団音楽隊長
徳武 洋子

令和二年十一月八日 初めての無観客・生配信という形で開催いたしました第三十六回定期演奏会をご視聴いただき誠にありがとうございました。コロナ禍での開催につきましては訓練会場のご協力をいただいた峰の高原区の皆様、準備段階から何度も打ち合わせ等の時間を重ねてくださったGoolightの皆様はじめ大変たくさんの方のご協力をいただきましたこと心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの終息はまだ見えませんが、市民の皆様にも元気な音楽を届けることができるようこれからの訓練に励んでいきます。



本年の分団長会です！よろしくお願いします！



地域の安全・安心を守る消防団に入団してみませんか！
地域での活動に参加することで新しい仲間と知り合うことができます。
みなさんの力を貸してください。

お問い合わせ

須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp

第11分団長	第10分団長	第9分団長	第8分団長	第7分団長	第6分団長	第5分団長	第4分団長	第3分団長	第2分団長	第1分団長	音楽隊長	ラッパ長	副団長	副団長
駒津 貴寛	坂田 雄一	卯之原 正幸	成山 隆司	市川 洋平	中村 智志	松澤 雄太	玉利 真吾	下田 悟司	宮崎 和哉	山岸 袈裟幹	徳武 洋子	湯本 直樹	山岸 修一郎	関延之

【編集委員】

編集後記

編集委員長

分団長会長 下田 悟司

昨年、感染が拡大した新型コロナウイルスにも変化が及んでいきます。消防団活動も技術大会、出初式等が中止となりましたが、有事の際に迅速に動けるよう、また技術の向上の為に、感染症対策を講じた上で訓練を行っております。

今後もコロナ禍での活動を強いられませんが市民の皆様の安全安全に尽力してまいりますのでご理解、ご協力を宜しくお願い致します。